



希望の虹プロジェクト
「がんとともにある社会」の実現とともに

学研 まんがでよくわかるシリーズ

「がんのひみつ」のご案内

子どもたちが「がん」について自分達で学ぶことができる教育資材を活用してみませんか？



指導者がいなくても、子どもにとっておもしろく、 自発的に学習できる教育資材



知識よりもストーリーを重視

がんとともにある社会の実現を目標に、メッセージが読後の印象として残るよう、知識よりもストーリーを重視してつくられています。

- ・「がんは身近な病気」
- ・「がんになっても社会で活躍できる」
- ・「がん予防・がん検診が大切」

豊富な情報量

まんがとしてストーリーを楽しむことに加え、より深くがんについて学びたいという要望に応えられるよう、最新の情報もたくさん掲載しています。

- ・6つのコラム
- ・116のまめちしき

様々な立場の意見を採用

患者さんへの配慮も行うため、制作の各段階(構成検討、ストーリー作成、漫画家選定、シナリオ作成)において、様々な立場の意見を取り入れました。

- ・学研スタッフ
- ・漫画家
- ・専門医
- ・小学生
- ・中学生
- ・各分野の研究者
- ・がん患者さん
- ・マーケティング
- ・PR実務者

学研「まんがでよくわかるシリーズ」とは



- ・1972年からシリーズを開始した学習漫画の草分け的存在
- ・約90タイトルの小学生向け(中・高学年)人気シリーズ
- ・非売品として、学研を通して寄贈し全国すべての国公私立小学校(養護学校、聾学校を含む)23,500校、公立図書館3,000館に設置(1施設1冊)
- ・電子書籍化により、無料閲覧が可能

子どもに対するがん教育

国のがん対策推進基本計画(H24年6月)において、子どもに対するがん教育のあり方を検討し、健康教育の中でがん教育を推進することが明記されました。

「8.がんの教育・普及啓発」の個別目標

- ・子どもに対しては、5年以内に、教育活動の実施を目標とする。
- ・国民に対しては、がんの普及啓発活動をさらに進める。

カリキュラムへの組み込み、副読本、出前授業等、様々な試みが行われていますが、手続きの複雑さや指導者育成など、教育現場に組み込むのは容易ではありません。また、限られた人材で独自に指導するにも限度があります。このような背景から、子ども達が自ら「がん」について学ぶことができる「がん教育資材」を開発いたしました。

ここで読めます「がんのひみつ」

学研を通じて非売品として寄贈
(2013年11月末)

全国の国公私立小学校
(養護学校、聾学校を含む)

23,500校

公立図書館
(1施設1冊)

3,000館

第42回がん対策推進協議会にて紹介
(2014年2月26日)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingji/0000037448.html>

電子書籍化により無料閲覧が可能に



iPhone/iPad向けアプリ
電子書籍ストア
学研BookBeyond
(ブックビヨンド)
(2014年2月~)



アンドロイド向けアプリ
電子書籍ストア
学研BookBeyond
(ブックビヨンド)
(2014年4月~)



ウェブサイト
「学研キッズネット」(2014年9月~)

<http://kids.gakken.co.jp/himitsu/089/index.html>

その他の展開

101自治体が4,005冊を自己予算で増刷

- ・児童クラブ、学童保育に設置
- ・小中学校でのがん予防教育での活用、学級文庫、児童・生徒に配布
- ・都道府県・市区町村庁舎、保健センター、市民健康館、町づくりセンターに設置
- ・病院図書館、医療機関、検診機関に設置
- ・がん検診啓発サポーターに配布

多くの新聞、ラジオ、テレビなどで紹介され、がん教育の重要性に関心が集まっています